

総合戦略関連事業評価・検証調書

I. 総合戦略における位置付け

①事業名	百石高校魅力アップ事業	担当課	政策推進課
②基本目標	③ 地域産業の育成と活性化の推進	担当者	袴田 笑美子
③施策	③-イ 雇用の創出と未来を担う人材の育成と確保	事業期間	2020 年度～ 2024 年度

II. 事業内容

④事業の目的 地元高校への支援や魅力アップを図る事業を実施し、入学生徒の確保を行い高校を存続させることにより、地域振興と①～③の効果を狙う。 ①若い世代（子育て世代）の移住定住 ②次世代の人づくりと関係人口の増加 ③高校生がいることによる賑わいの維持	⑤事業の概要 1. 百石高等学校支援事業費補助 （①学習塾助成／②各種検定料助成 ③オープンキャンパス参加支援／④新聞を読もう支援） 2. 町付属機関での魅力化事業の検討・推進
---	--

⑥令和2年度の事業計画（スケジュール）及び実施結果（予算・実績額・補助金）

事業計画	実施結果	予算・実績・補助金		
1. 補助事業 ①学習塾助成（計画6人） ②各種検定料助成 ③オープンキャンパス参加支援 ④新聞購読支援	1. 補助事業 ①学習塾支援 2人 ②各種検定料助成 英語検定65人／数学検定15人／ 漢字検定129人／ビジネス文書257人 ③オープンキャンパス… 実施なし ④新聞購読支援	予算額	1,624,000	円
2. 附属機関会議 2回	2. 附属機関会議 2回 3. 中学校へPR活動（訪問9校 チラシ郵送7校）	実績額	800,115	円
		補助金額	765,395	円

⑦関係課との連携

特になし

⑧関連する指標重要業績評価指標（KPI）	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5
		基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
1 青森県立百石高等学校普通科出願倍率	倍	0.94	1.0以上 1.19	1.0以上 1.03	1.0以上 0.89	1.0以上	1.0以上
2							
3							

III. 令和2年度（昨年度）自己評価（有効性・将来性）及び今後の方針

⑨本事業の効果 ・百石高校生へ各種検定料等の助成を行うことで、積極的な資格取得を支援。進学、就職等の目標への挑戦を後押しした。また、「進学にも挑戦できる高校」を目指して令和2年度に学習塾費用の助成を開始し、2人の生徒が活用した。高校生や保護者への支援を行うことで、「入りたい高校」として生徒の確保ができていく。なお、「青森県立高等学校教育改革推進計画第2期計画」（高校再編計画）の後期計画（案）においてはクラス数維持となった。	⑩有効性 目指す姿・KPIの達成に向けて効果があつたか ↓ B	⑪将来性（今後の方針） 事業継続・効果拡大や効率向上に向けた改善・事業廃止 ↓ B
	目指す姿やKPIに対し、相当程度（目標以上）の効果があつた	相当程度の効果があり、今後も事業効果が見込まれることから継続する（現状継続）

⑫今後の課題及び方針（改善・見直し）

- ・県立高校である百石高等学校の方針と町や地域との方向性との間には、当然違いがあり、協議や打ち合わせの中でギャップを埋めながら支援事業を進めていく必要がある。
- ・昨今、県内でも高校存続のために自治体で寮整備や、公営塾の開設を行っており、事例を参考にしながら進めていく必要がある。

⑩有効性の評価について

A	目指す姿やKPIに対し、非常に大きな効果があつた
B	目指す姿やKPIに対し、相当程度（目標以上）の効果があつた
C	目指す姿やKPIに対し、概ね目標を達成し効果があつた
D	目指す姿やKPIに対し、目標を達成できず効果が低かつた
E	目指す姿やKPIに対し、ほとんど効果がなかつた

⑪将来性（今後の方針）の評価について

A	大きな効果があつたことから、さらに発展させる（事業拡大）
B	相当程度の効果があり、今後も事業効果が見込まれることから継続する（現状継続）
C	効果があつたが、見直しに取り組みながら継続する（事業改善）
D	効果が低いので、廃止又は大幅な改善に取り組む（廃止又は事業改善）
E	効果がなく、今後も効果が見込めないことから、事業を廃止する（廃止）